

アシッドイレイザーを上手に使いこなすPOINT

■施術前のシャンプーについて

☆スタイリング剤等で汚れている場合、色落としのさまたげとなることがありますので良く洗って下さい。

■ドライヘアに塗るか？



染料をしっかり落としたい場合

放置タイムの目安
30分加温放置

■ウェットヘアに塗るか？ の違い



染料を軽く落としたい場合

放置タイムの目安
10分加温放置

☆暗めの染料を4レベル以上、落としたい場合 → ドライヘアに塗布し、20分以上 加温放置することをお勧めします。

※ナチュラルヘナや、色味の濃いキューブス・ヘアマニキュア等の場合 → 必ずドライヘアに塗布してください。

☆1～3レベル落とす場合 → ウェットヘアでも問題ありませんが、プレシャンプー後は、良くタオルドライして下さい。

■アシッドイレイザーの塗布量について

☆塗布量は、通常のカラー剤より、やや多めの量を目安に塗布して下さい。

必ず、ラップ等を使用し、乾燥しないように注意して下さい。

※乾燥した場合、色落ちがムラになることことがありますので、ご注意下さい。

■ジアミンを使用したカラー毛に施術する場合の注意点

☆ジアミンによるカラーチェンジ(反対色の色味に変える)は出来ません。

色味をチェンジしたい場合 → 「酸性染料＝ヘアマニキュア」・「HC・塩基性染料」のご使用をお勧めします。

アシッドイレイザーは、酸化重合されたジアミンの染料を還元することにより、色素を透明化しています。よって、色落としをした後、ジアミン系酸化染料にて、色補正・カラーチェンジの目的で酸化剤(過酸化水素)をもう一度 使用すると、毛髪内部に残存している透明になったジアミンが、再び重合し、色落としする前の色が出てきてしまいます。

☆過酸化水素等の酸化剤を使用したカラー剤(一般的なジアミンヘアカラー)を、ダブルカラーとして使用する場合 混合時に使用する酸化剤(過酸化水素)の濃度は、6.0%や3.0%を使用しないで下さい。

※色がかなり戻る可能性があります。

☆必ず1.5%の過酸化水素(混合時0.75%)を使用して下さい。(水+3.0% = 1 : 1 = 1.5%)

毛髪に残存したジアミンの再重合を、最小限に抑えることが出来ます。

☆過酸化水素等の酸化剤を使用しなくても、空気酸化(自然酸化)により、毛髪中に残存している染料が再重合し 1～2レベル程、色が戻る場合があります。(約1～2週間くらい)

■酸性染料(ヘアマニキュア)

トリートメントカラー(HC染料・塩基性染料)を使用したカラー毛に施術する場合の注意点

☆酸性染料＝ヘアマニキュアの場合 → 最低30分 加温放置して下さい。

☆HC・塩基性染料＝トリートメントタイプの場合 → 20分 加温放置して下さい。

※色味・毛髪の状態によっては、落ちにくい色もあります。

再塗布するか、一度洗い流してから、再施術をお勧めします。

☆酸性染料・HC・塩基性染料のカラーチェンジは問題ありません。

■金属性(カブレない・お歯黒式)ヘアカラーに施術する場合の注意点

☆問題なく色落としが可能です。15～20分程加温放置して下さい。

落とす直後にパーマ処理する場合、ややパーマがかかりにくい場合がありますので、ご注意下さい。

■光で染まるヘアクリーム(銀イオン・光還元)で暗くなった毛髪に施術する場合の注意点

☆「アシッドイレイザー」での施術は絶対に行わないで下さい。

※更に暗くなって、何をやっても落とせなくなりますので、ご注意下さい。

脱染したい場合は、必ず「エルコス アシッドカラーオフ」をご使用下さい！

※混合比 → アシッドカラーオフ+デベロッパ(H₂O₂)6.0% = 1 : 3